

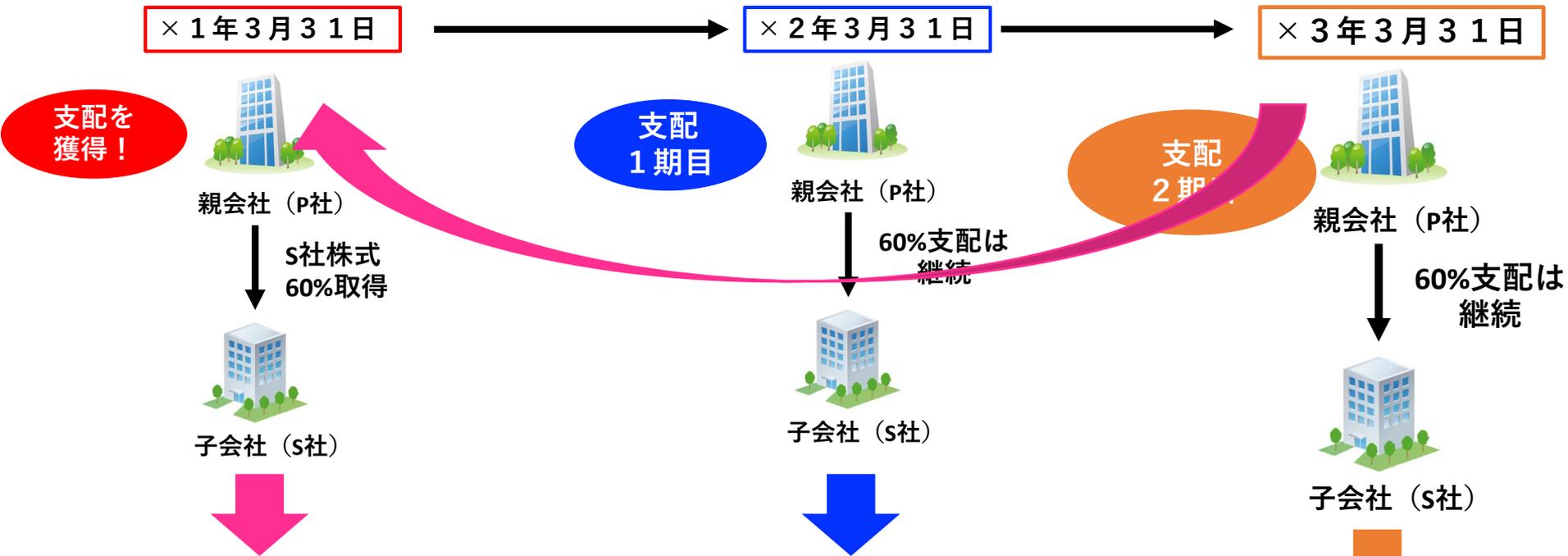
商業簿記

【第26回】

連結会計Ⅱ②・Ⅲ

1. 支配獲得3期目の場合はどうなるのか？（例題21-3・P315～317）

(1) 過去に遡って連結修正をする（開始仕訳について）



× 1年3月末の連結消去仕訳 【開始仕訳】			
資本金	125,000	S社株式	140,000
利益剰余金	100,000	非支配株主持分	90,000
のれん	5,000		

× 2年3月末の連結消去仕訳 【前期仕訳】	
①	のれんの償却（P298）
②	当期純利益の振替（P298）
③	配当金の修正（P299）

× 3年3月末の連結消去仕訳 【当期仕訳】	
①	のれんの償却（P298）
②	当期純利益の振替（P298）
③	配当金の修正（P299）

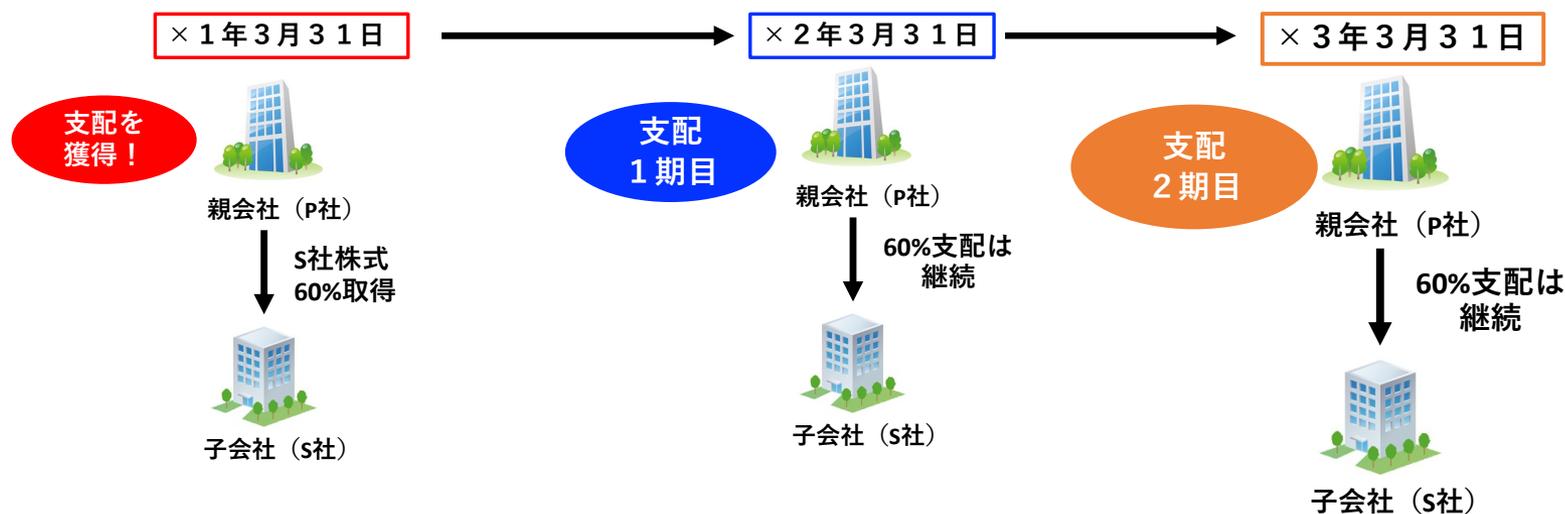
【設例21-3】 P315 ×3年3月31日（連結第2年度＝支配3期目）における連結修正仕訳を示しなさい。P社はS社株式60%を140,000で取得。

資料1. S社の資本の変動



子会社純資産	×1年3月31日	×2年3月31日	×3年3月31日
資本金	125,000	125,000	125,000
利益剰余金	100,000	104,000	120,000
合計	225,000	229,000	245,000

- ・ S社は20,000円の配当を行っている。
- ・ 当期×3年3月31日の当期純利益は36,000円



× 3年3月末の開始仕訳 → ×1年3月末と ×2年3月末までの仕訳の合計 (P316)

× 3年3月末の連結消去仕訳 【開始仕訳】	
資本金	S社株式
利益剰余金	非支配株主持分
のれん	

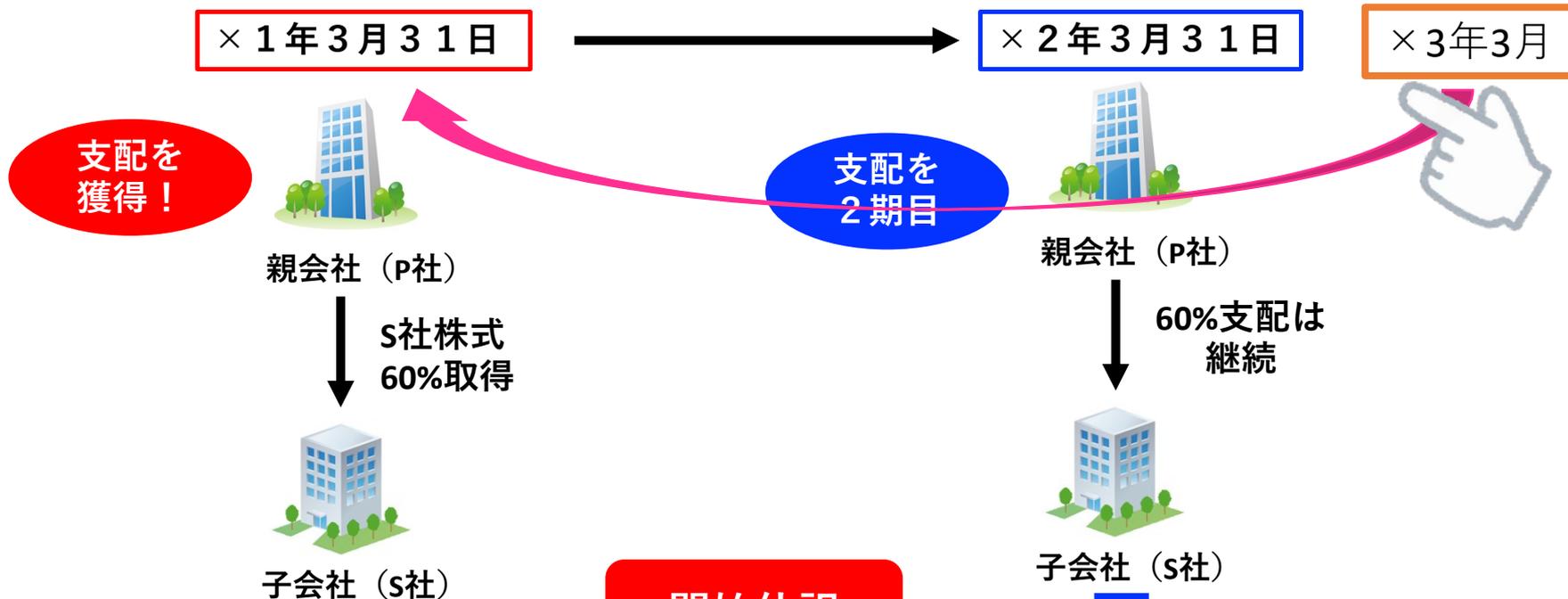
※開始仕訳では、収益や費用は全て「**利益剰余金**」で処理されます。

× 3年3月末の当期仕訳 (支配2期目の連結修正消去仕訳) P317

① のれんの償却		
② 当期純利益の振り替え		
③ 配当金の修正		

× 3年3月末の子会社の当期純利益36,000
配当金は20,000

(2) 開始仕訳の「収益と費用」は全て「利益剰余金」で処理



A. × 1年3月末の連結消去仕訳
【開始仕訳】

資本金	125,000	S社株式	140,000
利益剰余金	100,000	非支配株主持分	90,000
のれん	5,000		

B・C・D × 2年3月末の修正消去仕訳
【開始仕訳】

① のれん償却	利益剰余金500	のれん500
② 利益山分け	利益剰余金9,600	非支配株主持分9,600
③ 配当金修正	利益剰余金12,000 非支配株主持分8,000	利益剰余金 20,000

(3) このため「利益剰余金」は頻繁に動く科目となります。

× 1年3月末の投資と資本の相殺消去 (開始仕訳)

A. × 1年3月末の連結消去仕訳 【開始仕訳】			
資本金	125,000	S社株式	140,000
利益剰余金	100,000	非支配株主持分	90,000
のれん	5,000		



仕訳から集計
する方法

消去する利益剰余金の金額
 $100,000 + 500 + 9,600 + 12,000 - 20,000 = 102,100$

× 2年3月末の連結消去 (開始仕訳)

B. × 2年3月末の連結消去仕訳 【開始仕訳】	
利益剰余金 (のれん償却)	500

C. × 2年3月末の連結消去仕訳【開始仕訳】	
利益剰余金 (受取配当金)	1,200
非支配株主持分	8,000

D. × 2年3月末の連結消去仕訳 【開始仕訳】	
利益剰余金 (非支配株主に帰属する当期純利益)	9,600



利益剰余金	
100,000	S社 × 3年 120,000
500	20,000
9,600	
12,000	

T勘定を使う方法

× 3年3月末の**開始仕訳** → ×1年3月末と ×2年3月末までの仕訳の合計 (P316)

× 3年3月末の連結消去仕訳 【開始仕訳】			
資本金	125,000	S社株式	140,000
利益剰余金	102,100	非支配株主持分	91,600
のれん	4,500		

仕訳では、収益や費用として「**利益剰余金**」で処理されます。

× 3年3月末の**当期仕訳** (支配2期目の連結修正消去仕訳) P317

① のれんの償却		
② 当期純利益の振り替え		
③ 配当金の修正		

× 3年3月末の子会社の当期純利益36,000
配当金は20,000

(3) このため「利益剰余金」は頻繁に動く科目となります。

× 1年3月末の投資と資本の相殺消去 (開始仕訳)

A. × 1年3月末の連結消去仕訳 【開始仕訳】			
資本金	125,000	S社株式	140,000
利益剰余金	100,000	非支配株主持分	90,000
のれん	5,000		

開始仕訳の
非支配株主持分
 $90,000 - 8,000 + 9,600$
 $= 91,600$

× 2年3月末の連結消去 (開始仕訳)

B. × 2年3月末の連結消去仕訳 【開始仕訳】			
利益剰余金 (のれん償却)	500	のれん	500

C. × 2年3月末の連結消去仕訳【開始仕訳】			
利益剰余金 (受取配当金)	1,200	利益剰余金	20,000
非支配株主持分	8,000		

D. × 2年3月末の連結消去仕訳 【開始仕訳】			
利益剰余金 (非支配株主に帰属 する当期純利益)	9,600	非支配株主持分	9,600

開始仕訳の
のれん
 $5,000 - 500 = 4,500$

× 3年3月末の**開始仕訳** → ×1年3月末と ×2年3月末までの仕訳の合計 (P316)

× 3年3月末の連結消去仕訳
【開始仕訳】

資本金	125,000	S社株式	140,000
利益剰余金	102,100	非支配株主持分	91,600
のれん	4,500		

これで開始仕訳
が完成！

× 3年3月末の**当期仕訳** (支配2期目の連結修正消去仕訳) P317

- | | | |
|--------------|--|--|
| ① のれんの償却 | | |
| ② 当期純利益の振り替え | | |
| ③ 配当金の修正 | | |

× 3年3月末の子会社の当期純利益36,000
配当金は20,000

× 3年3月末の**開始仕訳** → ×1年3月末と ×2年3月末までの仕訳の合計 (P316)

× 3年3月末の連結消去仕訳 【開始仕訳】			
資本金	125,000	S社株式	140,000
利益剰余金	102,100	非支配株主持分	91,600
のれん	4,500		

※開始仕訳では、収益や費用は全て「**利益剰余金**」で処理されます。

これで当期仕訳
が完成！

× 3年3月末の**当期仕訳** (支配2期目の連結修正消去)

① のれんの償却	のれん償却 500	のれん 500
② 当期純利益の振り替え	非支配株主に帰属する 当期純利益 14,400	非支配株主持分 14,400
③ 配当金の修正	受取配当金 12,000 非支配株主持分 8,000	利益剰余金 20,000

× 3年3月末の子会社の当期純利益**36,000**
配当金は**20,000**

なぜ、過去の損益は「利益剰余金」の修正になるのか？

< 決算振替え >

収 益 × × **損 益** × × ▶ **損 益** × × **繰越利益剰余金** × ×
損 益 × × **費 用** × ×

ルート 1
会計帳簿の
締切

決算振替仕訳によって
矢印のように勘定間で
金額が移動します。

繰越利益剰余金	
残高勘定へ105	4/ 1残 高65 3/ 31損 益40※

繰越試算表

→ 現金預金	525	未払費用	20
→ 商 品	100	資 本 金	5
		繰越利益剰余金	

残高勘定によって次期に
繰越され、次期期首において
開始仕訳がなされます。
(基本例題 I - 1 参照)

仕 入	
i 現金預金400	3/ 31繰越商品100
3/ 31繰越商品200	
} 損益勘定へ500	
保 険 料	
iii 現金預金180	4/ 1未払保険料15
3/ 31未払保険料20	
} 損益勘定へ185	

売 上	
ii 現金預金725	
損益勘定へ725	

**テキスト16Pと226P
を確認ください**

損 益	
→ 仕 入	0
→ 保 険 料	185
← 繰越利益剰余金	40
売 上	725

収益と費用は損益勘定に
振替えられ、その差額である
利益だけが繰越利益剰余金
勘定によって、次期に繰越さ
れることとなります。

※繰越利益剰余金
勘定へ振り替え

× 3年3月末の**開始仕訳**（上記A.×1年とB～D×2年の仕訳の合計） P319

× 3年3月末の連結消去仕訳 【開始仕訳】			
資本金	125,000	S社株式	140,000
利益剰余金	102,100	非支配株主持分	91,600
のれん	4,500		

※開始仕訳では、収益や費用は全て「**利益剰余金**」で処理されます。

× 3年3月末の**当期仕訳**（支配2期目の消去仕訳） P320

① のれんの償却	のれん償却 500	のれん 500
② 当期純利益の振り替え	非支配株主に帰属する 当期純利益 14,400	非支配株主持分 14,400
③ 配当金の修正	受取配当金 12,000 非支配株主持分 8,000	利益剰余金 20,000

× 3年3月末の子会社の当期純利益36,000
配当金は20,000

2.問題の解き方～「連結精算表」なしで連結財務諸表を作成する（設例21-4 P318）

資料1. 子会社の資本の変動

子会社純資産	×1年3月31日	×2年3月31日	3年3月31日
資本金	125,000	125,000	125,000
利益剰余金	100,000	104,000	120,000
合計	225,000	229,000	245,000

P社は×1年3月31日にS社の発行済株式の60%を140,000で取得し、支配を獲得した。

資料2.

S社は当期に20,000円の配当を行っている

貸借対照表

×3年3月31日

資産	P社	S社	負債・純資産	P社	S社
諸資産	700,000	525,000	諸負債	412,000	280,000
S社株式	140,000		資本金	200,000	125,000
			利益剰余金	228,000	120,000
	840,000	525,000		840,000	525,000

損益計算書

×2年4月1日～×3年3月31日

借方科目	P社	S社	貸方科目	P社	S社
諸費用	440,000	264,000	諸収益	488,000	300,000
当期純利益	60,000	36,000	受取配当金	12,000	
	500,000	300,000		500,000	300,000

× 3年3月末の**開始仕訳** (P320)

× 3年3月末の連結消去仕訳 【開始仕訳】	
資本金	S社株式
利益剰余金	非支配株主持分
のれん	

【開始仕訳】は別紙で
×1年度と×2年度連結消去
仕訳を考えて計算してみて
ください。

× 3年3月末の**当期仕訳** (支配2期目の連結修正消去仕訳) P327

① のれんの償却		
② 当期純利益の振り替え		
③ 配当金の修正		

× 3年3月末の子会社の当期純利益36,000
配当金は20,000

別紙：【開始仕訳】を考えるための×1年度と×2年度連結消去仕訳

×1年3月末の投資と資本の相殺消去（開始仕訳①）

A. ×1年3月末の連結消去仕訳 【開始仕訳】	
資本金	S社株式
利益剰余金	非支配株主持分
のれん	



仕訳から集計
する方法

消去する利益剰余金の金額

×2年3月末の連結消去（開始仕訳②）

B. ×2年3月末の連結消去仕訳 【開始仕訳】	
利益剰余金 (のれん償却)	のれん

C. ×2年3月末の連結消去仕訳【開始仕訳】	
利益剰余金 (受取配当金) 非支配株主持分	利益剰余金

D. ×2年3月末の連結消去仕訳 【開始仕訳】	
利益剰余金 (非支配株主に帰属 する当期純利益)	非支配株主持分

利益剰余金

S社 × 3年 120,000

【解答①】 設例24-2 P318

連結貸借対照表

×3年3月31日

(単位：円)

諸 資 産	諸 負 債
の れ ん	資 本 金
	利 益 剰 余 金
	非支配株主持分

連結損益計算書

×2年4月1日から×3年3月31日

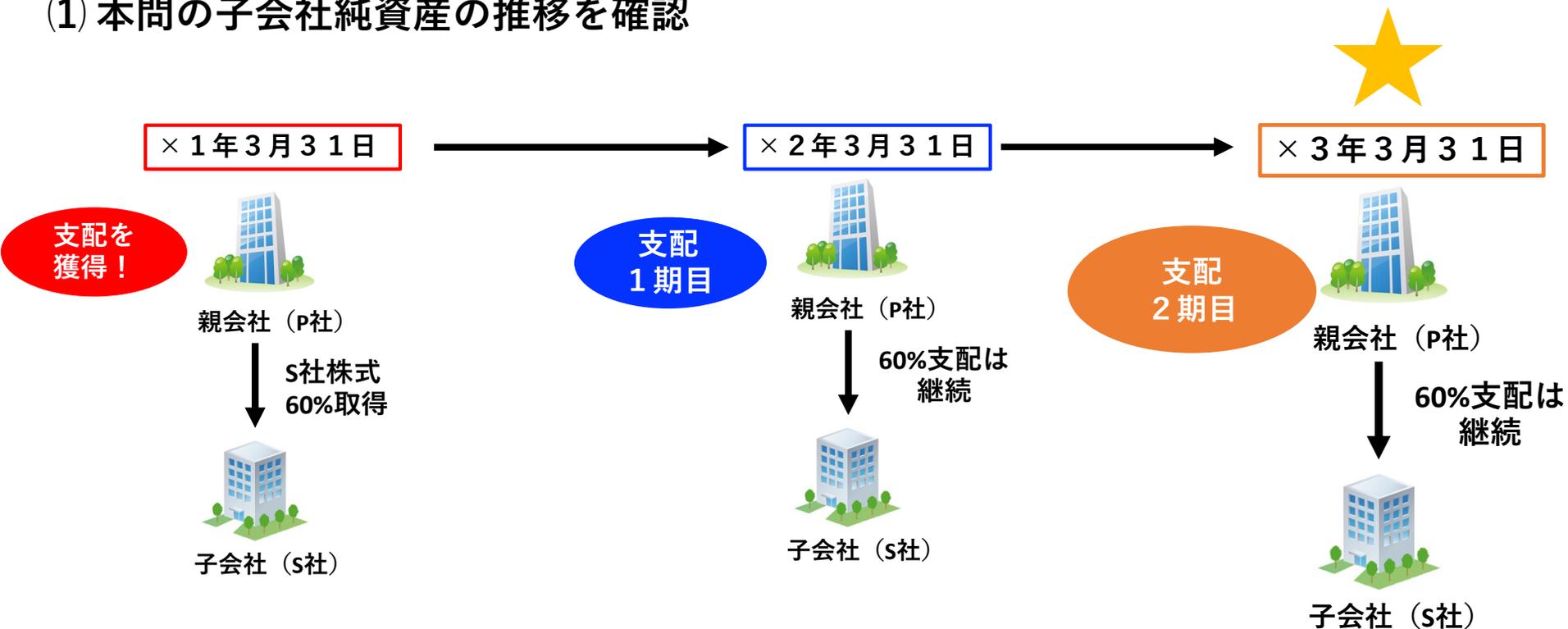
科目	金額
諸収益	
諸費用	
のれん償却	
当期純利益	
非支配株主に帰属する 当期純利益	
親会社に帰属する 当期純利益	

【解答②】 連結精算表 P326

【支配2期目】 連結精算表

科 目	個別財務諸表		連結修正消去仕訳		連 務	結 諸	財 表
	P社 (親会社)	S社 (子会社)	借 方	貸 方			
貸借対照表							
【資産】							
諸 資 産	700,000	525,000					
S 社 株 式	140,000						
の れ ん							
資 産 合 計	840,000	525,000					
【負債】							
諸 負 債	412,000	280,000					
【純資産】							
資 本 金	200,000	125,000					
利 益 剰 余 金	228,000	120,000					
非支配株主持分							
負債・純資産合計	840,000	525,000					
損益計算書							
諸 収 益	488,000	300,000					
受 取 配 当 金	12,000						
諸 費 用	440,000	264,000					
の れ ん 償 却							
当 期 純 利 益	60,000	360,000					
非支配株主に帰属する 当 期 純 利 益							
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益							

(1) 本問の子会社純資産の推移を確認

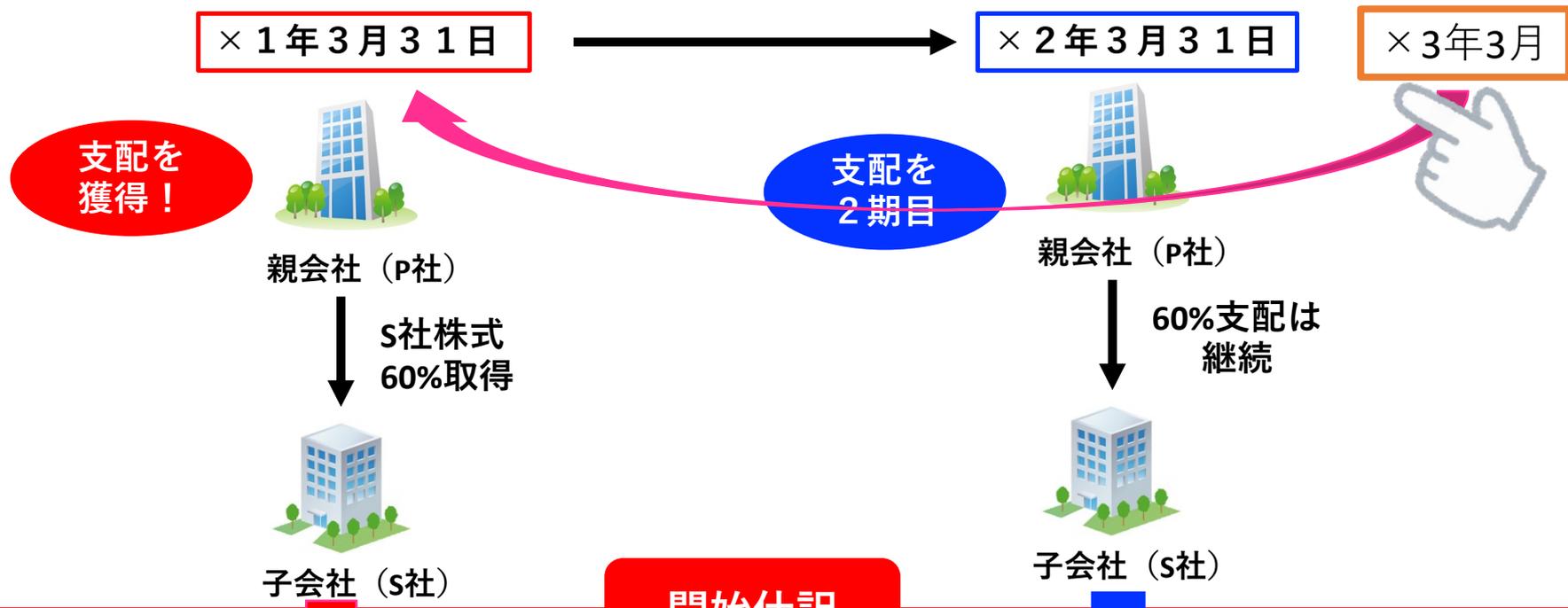


資料 1. 子会社の資本の変動

開始仕訳

子会社純資産	× 1年3月31日	× 2年3月31日	3年3月31日
資本金	125,000	125,000	125,000
利益剰余金	100,000	104,000	120,000
合計	225,000	229,000	245,000

(2)開始仕訳をきる (P320)



A. × 1年3月末の連結消去仕訳
【開始仕訳】

資本金	125,000	S社株式	140,000
利益剰余金	100,000	非支配株主持分	90,000
のれん	5,000		

B・C・D × 2年3月末の修正消去仕訳
【開始仕訳】

① のれん償却	利益剰余金500	のれん500
② 利益山分け	利益剰余金9,600	非支配株主持分9,600
③ 配当金修正	利益剰余金12,000 非支配株主持分8,000	利益剰余金20,000

(2)開始仕訳をきる (P320)

× 3年3月末の**開始仕訳** (P320)

A. × 1年3月末の連結消去仕訳 【開始仕訳】			
資本金	125,000	S社株式	140,000
利益剰余金	102,100	非支配株主持分	91,600
のれん	4,500		

金額の集計方法

- ① 仕訳から電卓叩いて集計する方法
- ② T勘定を書いて集計する方法



修正消去する「利益剰余金」の金額を出す方法

× 1年3月末の投資と資本の相殺消去 (開始仕訳)

A. × 1年3月末の連結消去仕訳
【開始仕訳】

資本金	125,000	S社株式	140,000
利益剰余金	100,000	非支配株主持分	90,000
のれん	5,000		



仕訳から集計
する方法

消去する利益剰余金の金額
 $100,000 + 500 + 9,600 + 12,000 - 20,000 = 102,100$

× 2年3月末の連結消去 (開始仕訳)

B. × 2年3月末の連結消去仕訳
【開始仕訳】

利益剰余金	500		500
(のれん償却)			

C. × 2年3月末の連結消去仕訳【開始仕訳】

利益剰余金	1,200	利益剰余金	20,000
(受取配当金)			
非支配株主持分	8,000		

D. × 2年3月末の連結消去仕訳 【開始仕訳】

利益剰余金	9,600	持分	9,600
(非支配株主に帰属する当期純利益)			

利益剰余金

100,000
500
9,600
12,000

S社 × 3年 120,000
20,000

T勘定を使う方法

× 3年3月末の**開始仕訳** (P320)

× 3年3月末の連結消去仕訳 【開始仕訳】			
資本金	125,000	S社株式	140,000
利益剰余金	102,100	非支配株主持分	91,600
のれん	4,500		

これで当期仕訳
が完成！

× 3年3月末の**当期仕訳** (支配2期目の連結修正消去)

① のれんの償却	のれん償却 500	のれん 500
② 当期純利益の振り替え	非支配株主に帰属する 当期純利益 14,400	非支配株主持分 14,400
③ 配当金の修正	受取配当金 12,000 非支配株主持分 8,000	利益剰余金 20,000

× 3年3月末の子会社の当期純利益**36,000**
配当金は**20,000**

(3)金額を集計する (P321)

【解答】 設例24-2 P318

連結貸借対照表

× 3年 3月31日

(単位：円)

諸 資 産	1, 225, 000	諸 負 債	692, 000
の れ ん	4, 000	資 本 金	200, 000
-----		利 益 剰 余 金	239, 000
-----		非支配株主持分	98, 000
-----	1, 229, 000	-----	1, 229, 000
-----		-----	

貸借対照表

× 3年3月31日

資産	P社	S社	負債・純資産	P社	S社
諸資産	700,000	525,000	諸負債	412,000	280,000
S社株式	140,000		資本金	200,000	125,000
			利益剰余金	228,000	120,000
	840,000	525,000		840,000	525,000

× 3年3月末の**開始仕訳** (P320)

$$P社200,000 + S社125,000 - 125,000 = 200,000$$

× 3年3月末の連結消去仕訳
【開始仕訳】

資本金	125,000	S社株式	140,000
利益剰余金	102,100	非支配株主持分	91,600
のれん	4,500		

× 3年3月末の**当期仕訳** (支配2期目の連結修正消去仕訳)

$$4,500 - 500 = 4,000$$

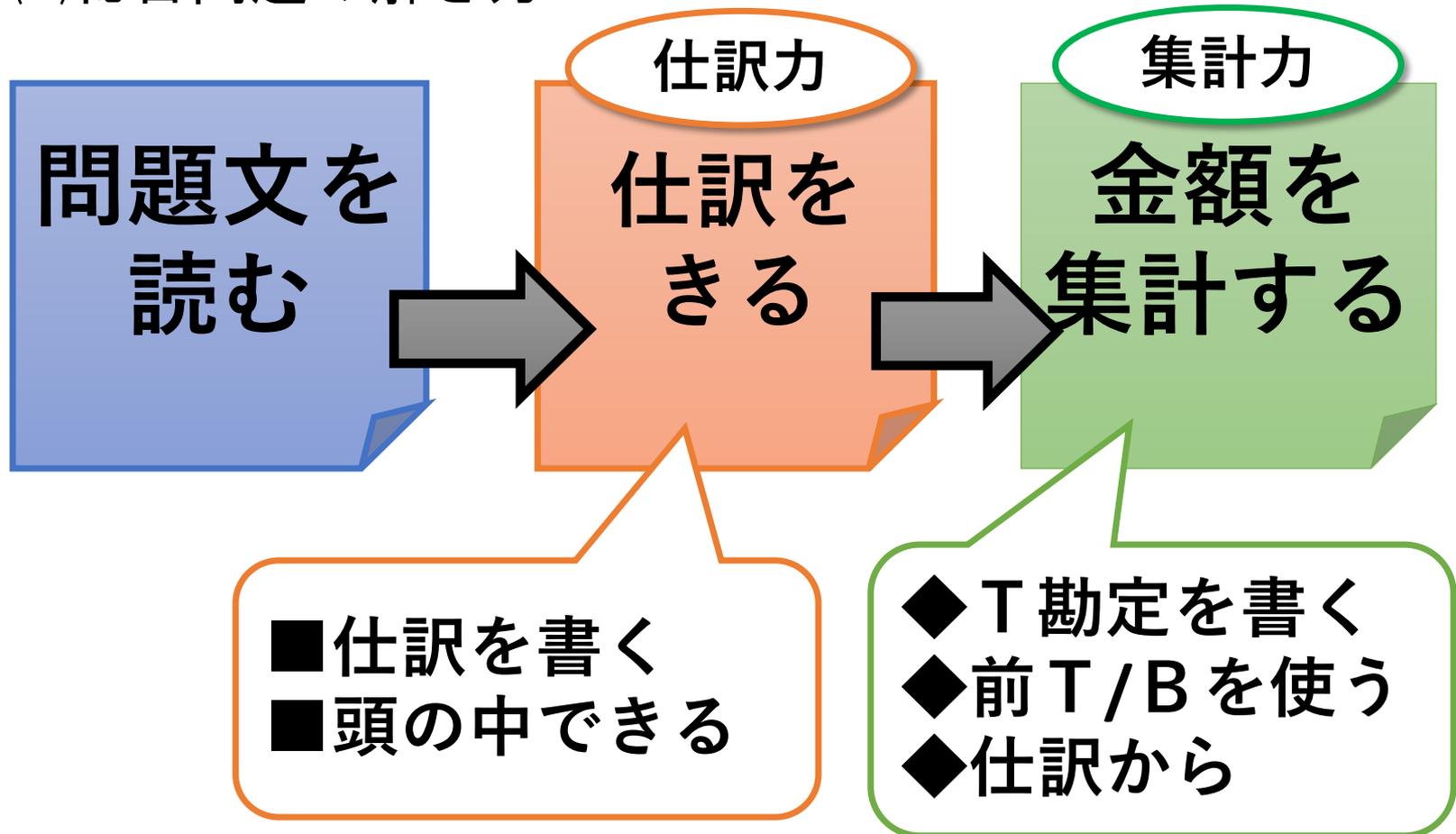
① のれんの償却	のれん償却 500	のれん 500
② 当期純利益の振り替え	非支配株主に帰属する 当期純利益 14,400	非支配株主持分14,400
③ 配当金の修正	受取配当金12,000 非支配株主持分8,000	利益剰余金20,000

× 3年3月末の子会社の当期純利益36,000
配当金は20,000

$$91,600 + 14,400 - 8,000 = 98,000$$

簿記の「問題」は「**仕訳が命!**」仕訳力と集計力を磨く

(1)総合問題の解き方



(3)金額を集計する (P321)

【解答】 設例24-2 P318

連結貸借対照表

× 3年 3月31日

諸 資 産	1, 225, 000	諸 負 債	692, 000
の れ ん	4, 000	資 本 金	200, 000
		利 益 剰 余 金	239, 000
		非支配株主持分	98, 000
	1, 229, 000		1, 229, 000

利益剰余金の金額
を算定するのは
少し手間がかかる

(円)

貸借対照表

× 3年3月31日

資産	P社	S社	負債・純資産	P社	S社
諸資産	700,000	525,000	諸負債	412,000	280,000
S社株式	140,000		資本金	200,000	125,000
			利益剰余金	228,000	120,000
	840,000	525,000		840,000	525,000

× 3年3月末の**開始仕訳** (P320)

× 3年3月末の連結消去仕訳 【開始仕訳】			
資本金	125,000	S社株式	140,000
利益剰余金	102,100	非支配株主持分	51,000
のれん	4,500		

$$P社228,000 + S社120,000 - 102,100 - 500 - 14,400 - 12,000 + 20,000 = 239,000$$

× 3年3月末の**当期仕訳** (支配2期目の連結修正消去仕訳) P327

① のれんの償却	のれん償却 500	のれん 500
② 当期純利益の振り替え	非支配株主に帰属する 当期純利益 14,400	非支配株主持分 14,400
③ 配当金の修正	受取配当金 12,000 非支配株主持分 8,000	利益剰余金20,000

× 3年3月末の子会社の当期純利益36,000
配当金は20,000

【解答②】 連結精算表 P326

【支配2期目】 連結精算表

科 目	個別財務諸表		連結修正消去仕訳		連 務	結 諸	財 表
	P社 (親会社)	S社 (子会社)	借 方	貸 方			
貸借対照表							
【資産】							
諸 資 産	700,000	525,000					
S 社 株 式	140,000						
の れ ん			4,500	140,000			
資 産 合 計	840,000	525,000					
【負債】							
諸 負 債	412,000	280,000					
【純資産】							
資 本 金	200,000	125,000	125,000				
利 益 剰 余 金	228,000	120,000	102,100				
非支配株主持分				91,600			
負債・純資産合計	840,000	525,000					
損益計算書			開始仕訳				
諸 収 益	488,000	300,000					
受 取 配 当 金	12,000						
諸 費 用	440,000	264,000					
の れ ん 償 却							
当 期 純 利 益	60,000	360,000					
非支配株主に帰属する 当 期 純 利 益							
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益							

【支配2期目】連結精算表

科 目	個別財務諸表		連結修正消去仕訳		連 務	結 諸	財 表
	P社 (親会社)	S社 (子会社)	借 方	貸 方			
貸借対照表							
【資 産】							
諸 資 産	700,000	525,000					
S 社 株 式	140,000						
の れ ん			4,500	140,000			
資 産 合 計	840,000	525,000		500			
【負 債】							
諸 負 債	412,000	280,000					
【純 資 産】							
資 本 金	200,000	125,000	125,000				
利 益 剰 余 金	228,000	120,000	102,100	20,000		239,000	
非支配株主持分			26,900				
			8,000	91,600			
負債・純資産合計	840,000	525,000		14,400			
損益計算書							
諸 収 益	488,000	300,000					
受 取 配 当 金	12,000		12,000				
諸 費 用	440,000	264,000	500				
の れ ん 償 却							
当 期 純 利 益	60,000	360,000	12,500				
非支配株主に帰属する							
当 期 純 利 益			14,400				
親会社株主に帰属する							
当 期 純 利 益			26,900				

当期仕訳